



日本最古の修験道
「葛城修験」を
体感して学ぼう！

家族で参加！
こども
山伏修行体験

日時 令和5年 7月29日(土)
9:00 ~ 14:30(予定) ※雨天時は翌日に順延

場所 堀越癩観音
(和歌山県伊都郡かつらぎ町東谷 1360)

集合場所: JR 和歌山線 妙寺駅
※堀越癩観音まで乗合タクシーで移動

参加費: 1組 4,000円(税込)

対象者: 小学3年生以上の子どもとその保護者
2名1組

募集定員: 8組 16名 ※応募多数の場合は抽選

募集期間: 6月23日(金) 9:00 ~ 7月14日(金) 12:00

内容

- 1. 向井副住職指導のもと修験の歴史や作法を学びます
- 2. 1300年以上続く葛城修験の道を歩きます
- 3. 昼食は修験ゆかりの行者米を使った一汁一菜の精進料理
- 4. お子様には最後に直筆の修了証を進呈します

主催

かつらぎ町観光協会

協力

葛城修験日本遺産活用推進協議会

お申込み先



(一社) 高野山麓ツーリズムビューロー

TEL

0736-26-7988

※受付時間: 平日 9:00-17:00



受付専用 Form

こども山伏修行体験 行程

9:00 | JR 和歌山線 妙寺駅 集合

～乗合ジャンボタクシーで堀越癩観音へ移動～



9:30 | 向井副住職によるお話・般若心経の読経・洒水・護摩堂での勤行

- ・葛城修験の歴史やお寺の由来、修験の作法などについての解説を聴きます。
- ・一人ずつ、お清めの儀式「洒水」を受けます。
- ・護摩堂に安置されている修験道を開いた「役行者」の像を拝観し、般若心経をあげます。

10:50 | 東ノ燈明岳および葛城二十八宿 第十三経塚を参拝(登山:約110分)

- ・向井副住職とともに山道を歩き、役行者が法華経を埋納したとされる「経塚」や葛城修験ゆかりの山「東ノ燈明岳」の山頂にまつられている役行者の石像を参拝します。

12:40 | 修験ゆかりの行者米を使った一汁一菜の精進料理

- ・堀越癩観音に戻り、お食事に関する教えを聴いて、昼食をいただきます。

13:10 | まとめのお話・修了証の授与

- ・向井副住職からまとめのお話を聴き、直筆の修行体験修了証が授与されます。

13:40 | お茶の接待

- ・堀越癩観音の名物「銀杏茶」をいただきます。

14:00 | 堀越癩観音 出発

～乗合ジャンボタクシーで移動～

14:30 | JR 和歌山線 妙寺駅 到着・解散



日本遺産「葛城修験」と堀越癩観音

和泉山脈から金剛山地までの一帯は、古くから「葛城」と呼ばれ、修験の聖地とされてきました。令和2年6月、かつらぎ町など20市町村にまたがるストーリー「葛城修験一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」が文化庁から日本遺産に認定されました。



かつらぎ町北部の山間にたたずむ寺院「堀越癩観音」は葛城二十八宿行所の一つで、日本遺産の構成文化財でもあります。修験道を開いたとされる役行者が、母親の癩病(強い腹痛・胸痛)平癒を祈って刻んだと伝わる観音様の像が祀られ、癩病にご利益があると広く信仰を集めています。

同日夜開催

大和街道 竹とうろうの夜



妙寺地区では同日夜に手づくりの竹灯籠が地域を彩ります。夜店やミニコンサートなどもあり。体験終了後はぜひお立ち寄りください!

お申込み・お問合せ



一般社団法人 高野山麓ツーリズムビューロー

〒649-7205 和歌山県橋本市高野口町名倉 288 橋本市地場産業振興センター 2階

▼電話または受付専用 WEB Form からお申込みください

TEL **0736-26-7988**

【受付時間】平日 9:00 - 17:00

【募集期間】6月23日(金) 9:00 から
7月14日(金) 12:00 まで

WEB <https://forms.gle/UL9A1Ddu9EnWm2Tr5>



受付専用 Form

留意事項

- ・体験はお子様を対象で、保護者の方は付き添いとして後ろからご同行いただく形となります(写真撮影等は可能です)。
- ・応募多数の場合は抽選を行い、参加の可否を【7月14日(金)】にご連絡します。
- ・雨天の場合は翌日【7月30日(日)】に開催を順延します。
- ・お子様には白衣および鉢巻をご着用いただきます(貸出いたします)。
- ・送迎時は山道を通るため、車酔いされる方は酔い止めのご用意をお願いします。
- ・2時間ほど山道を歩きます。歩きやすい靴・長袖長ズボンをご着用ください。
- ・食物アレルギーがある場合は事前にお知らせください。
- ・熱中症予防のため、お飲み物をご持参ください。
- ・終了時に参加者アンケートへのご協力をお願いします。
- ・体験中に撮影した写真は、今後かつらぎ町観光協会のホームページや SNS 等で使用する可能性があることを予めご了承ください。